



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



いよいよ 11 月。「NLP2nd ステージ」！更なる学びの充実を!!

— Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) —

今日から 11 月です。2 学期もちょうど半分、折り返しということです。令和 4 年もあと 2 か月、一年の終わりも近づいてきました。駆け抜ける感じがします。

さて、**NLP (NAKABAN LEARNING PROJECT)** も今、**2nd ステージの真っ最中**です。この **NLP** の最大の特徴は、**個別化と自己評価**です。個別化では、自分の苦手な教科を学習していくことです。1st ステージの苦手な教科の設定については、4 年生から 6 年生は、昨年度実施した到達度テストの結果から判断しています。1 年生から 3 年生は、全体的な学校の傾向から算数を設定しました。自己評価については、自分が問題を解いた後、答え合わせをした時、間違っていた場合、それは自分にとってどういう意味合いのものかということについて判断するものです。間違った場合、それは、**A: 単純なミス (勘違い、記載ミス、計算ミス等)**、**B: 答えを見て分かったもの (書けなかったもの、間違いが分かるもの等)**、**C: 答えを見て分かったもの (今の自分では分からないもの)** なのかを判断することです。このように **自己評価することのねらいは、自分の学習の状態に気づく、認知すること**です。A が多い場合は、注意深く問題を読み、丁寧に答える習慣を付ける必要があります。B が多い場合は、内容の定着が課題となります。C が多い場合は、改めて学習の必要があります。というように、自分が気を付けることを認識することができるということです。昨年、この **NLP** を始めた時、赤で○を入れること、正しい答えをきちんと書き写すことができない、答えの記号を正確に記載できない (例えば、⑦とアの違いに気づかない) 児童の多さに正直驚きました。自学自習とい

う言葉がありますが、自分で学習を進める為に必要な力があります。それは、単純なことです、「自分で答え合わせができる」ということです。つまり、**NLP** を始めた時の子供達は、これが十分できていなかったということです。今年はどうかという、圧倒的にその点では、少なくなりました。子供達には、前回の朝会でこの **NLP** について説明をしています。その中で「**赤でいっぱいになっていることは、全く恥づかしくないこと**」と伝えています。その為か、きちんと赤で正解を書いている児童が大変多いように感じます。自己評価は慣れない面もあるかと思いますが、これも経験と継続を通して確実に身に付けて欲しいと願っています。このような感じで 1st ステージを終えています。今は 2nd ステージに入っています。学習の内容は、**現学年の 2 つの苦手教科の克服**です。4 年生から 6 年生までは、1st ステージと同様に到達度テストの結果により実施教科を決めています。3 年生は国語、理科、2 年生は国語、1 年生は算数としています。実施期間は **11 月 11 日(木)迄**です。自分で進める学習の為、2nd ステージを終えた者は、次の 3rd ステージに挑戦していきます。また、期日が来ると 3rd ステージに移行していきます。期間を決め、その課題に向き合っていくことを基本としています。**NLP は、自分で学習する機会、自分がどのように進めていくかを考えるものです。**学習する機会、時間は人によって違います。学習の隙間に見つけた時間を有効に使うのも一つ、自分で決めた時刻に決められた時間を学習するのも一つです。問題集の答え合わせをし間違ったページに付箋を付け返却ボックスに返す訳ですが、すぐに直しをして提出する子供がいます。多くの子供達が、自分で学習し、どんどん進めていく、実際に 3rd ステージが終了期限より早く終われば、次の学年の学習にも取り組んでいきます。**学習は、学年を越えても自分でできるものです。学びの機会は、いつでも、どこでも、開かれているものなのです。**

中番小学校は、児童にとって、「**明日も行きたい! 学びたい! 学校**」を目指し、日々の取り組みを充実させ、共に歩んでいきたいと願っております。